

大成ロテック

電気加熱式アス材料運搬車増強

ITでトラブル迅速対応

大成ロテックは、「モニタリングフォローステム」を搭載した電気加熱式アスファルトクッカー車を新たに3台

導入した。写真。大成建設グループの成和リニューアルワークスと共同でプロトタイプを製作し、2019年から試行を重ねてきた。新車両が加わったことで同社が保有する

電気加熱式アスファルトクッカー車は7台、うち4台がモニタリングフォローステム搭載車となった。

アスファルトクッカー車は、橋梁の鋼床版上の舗装などに使用するグースアスファルト舗装の材料を運搬する特殊専用車両だ。従来の車両では、材料運搬時の保温方法は



ガス加熱式が採用されているが、安全上の問題で走行中はガスを消火する必要があるた

め、加熱しながらの走行はできなかった。新たに導入した車両では、電気加熱式を採用することで走行中でも材料を加熱できるようになり、安定した品質の材料を現場に供給することが容易となった。

また、ITを活用したモニタリングフォローステムを導入することで、機械装置の稼働状況確認や遠隔操作を可能とし、同社機械技術センターと施工現場の間で、トラブル発生時にはすばやく対応できる体制を確立した。